

# 平成28年産 麦栽培暦

月旬	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中					
主な作業	土資 材散 布			元肥 播種			麦踏 み			追肥 ① 土入 れ			麦踏 み			追肥 ② 土入 れ			病害 防除			追肥 ③			（ノボリグサ） 抜き取り ヤエムグラ		収乾調 穫燥整	

## 1. 圃場

- 1) 麦は、湿害を受けやすいので、本暗きょ・弾丸暗きょ(2m間隔)を行いましょ
- 2) 播種後の湿害対策の為、畝立て播種を行ってください。
- 3) 圃場周辺と畝間の溝さらえ・排水溝は、必ず作りましょ。
- 4) 酸性土壌が多いため、生石灰を3~5袋、もしくは、バイタリーを3~4袋施肥し酸度矯正を行いましょ。

## 2. 種子準備

- 1) 病害虫予防の為の種子消毒は、必ず行って下さい。

	農薬名	種子10kg当りの使用量	使用方法
1	キヒゲンR-2フロアブル	200ml	キヒゲンR-2フロアブルを塗布し、乾きましたら
	アドマイヤー水和剤	15g	アドマイヤー水和剤15gをまぶし、よく混ぜてください。
2	トリフミン水和剤	50g	トリフミン水和剤 50gをまぶしたあとに、
	アドマイヤー水和剤	15g	アドマイヤー水和剤15gをまぶし、よく混ぜてください。

※1もしくは、2のどちらかの方法で、種子消毒を行ってください。

## 3. 施肥

### 省力型栽培

品種	元肥	追肥①	追肥②	追肥③
大麦	ダイヤモンドコート029 (20-12-9) 40kg~45kg	不要	硫安 10kg	
小麦	ダイヤモンドコート029 (20-12-9) 50kg~60kg	不要	硫安 15kg~20kg	
ラーメン小麦	ダイヤモンドコート029 (20-12-9) 50kg~60kg	不要	硫安 15kg~20kg	硫安 10kg~15kg

### 普通型栽培

品種	元肥	追肥①	追肥②	追肥③
大麦	コウノシマ444 (14-14-14) 40~50kg	追肥716 (17-1-16) 20~30kg	硫安 10kg	
小麦	コウノシマ444 (14-14-14) 40~50kg	追肥716 (17-1-16) 20~30kg	硫安 20kg	
ラーメン小麦	コウノシマ444 (14-14-14) 40~50kg	追肥716 (17-1-16) 20~30kg	硫安 20kg	硫安 10kg~15kg

※省力型栽培の場合は、1回目の追肥は不要です。 ※大豆、野菜後は、施肥量を調節してください。

## ☆収量増加・倒伏防止に！

肥料名	成分	散布量	使用方法
ハイグリーン	微量要素肥料	30~45kg	水稻収穫後の耕起時、元肥と同時 または、追肥時に施肥してください。
ホスピタ	ハイグリーン+リン酸	40kg	

⇒元肥とハイグリーン・ホスピタを別々に施肥するのが面倒な方に⇒肥料の混合も行っています。  
肥料を混合すれば、1度の散布でOK！ 作業がスムーズに進みます。

## 4. 播種量及び播種時期

項目	小麦	大麦	
		ほうしゅん・ニシノホシ	はるしずく
播種適期	11月15日~25日	11月25日~12月5日	12月1日~5日
播種量	6~7kg	6~7kg	5~6kg

## 5. 雑草防除

使用時期	除草剤名	対応雑草	使用薬量並びに水量		注意事項
耕起前~播種前	ラウンドアップ マックスロード	1年生、多年生イ ネ科雑草	200~500ml 100~200ml	水100L	●土壌が乾いている時には、水量を 多くする。
	リベレーター フロアブル	イネ科雑草 及び 広葉雑草	60~80ml	水100L	●葉害回避の為、覆土は3cmとする
	ムギレンジャー乳剤		500ml	水100L	●重複散布やムラに注意する。
	リベレーター粒剤		4~5kg		●野菜類があるところでは、注意する。
1月中旬~ 2月上旬	ハーモニー75DF 水和剤	1年生広葉雑草 スズメノテッポウ	10g	水100L	●散布後黄化する場合があります
2月中旬~ 下旬	アクチノール乳剤	1年生広葉雑草	100~200ml	水100L	●散布後は、早く洗浄する(消石灰水)
					●ヤエムグラ(ノボリグサ)3節期までに 散布する。

## 6. 麦踏み・土入れ

- 1) 麦踏みは、1月上旬~2月下旬の間に3~5回程行って下さい。  
行う事で、収量増加、品質向上、倒伏防止、に役立ちます。
- 2) 土入れは、除草・作業溝を兼ねて1月中旬から3月上旬までに3回ほど行って下さい。
- 3) 土入れ・麦踏みは、土壌の濁っているときに行ってください。湿っているときには、行わないでください。

## 7. 赤かび病・うどんこ病防除

- 1) 赤かび病の原因菌が作り出す毒素が基準を超えると食品として出荷できません。必ず防除を行ってください。

品種	防除適期	農薬名	使用薬量及び水量	
大麦	出穂後12~14日 (穂揃い後7日頃)	トップジンM粉剤	4kg/10a	
		トップジンM水和剤	1000倍	100L/10a
小麦	出穂後7日~10日 (花が咲いた頃)	トップジンMゾル	1000倍	100L/10a
		トップジンMゾル(ヘリ)	8倍	0.8L/10a
		チルト乳剤	1000~2000倍	100L/10a

◎開花期以降も雨が多い時は、2回防除を行なってください。

## 8. 収穫

- 1) 収穫前迄に、カラスノエンドウ・ママコノシリヌグイの抜き取りをおねがいします。
  - 2) 早刈りは、品質を低下させますので、ビール麦では、成熟期より3~4日遅らせた時期、  
小麦では、成熟期から2~3日遅らせた時期を収穫の目安として下さい。
- ※ご不明な点がございましたら、何なりと、お申し付けください。

万来屋物産株式会社 TEL 0942-44-6101 担当 \_\_\_\_\_  
携帯 \_\_\_\_\_

注文明細			
肥料		農薬	
品名	数量	品名	数量
ハイグリーン			
ホスピタ			

配達予定日 月 頃